

している。また、7月から高速大村場バス停に九州号が停車するようになったため、利用状況の調査等を行っており、複数案を検討している。市の一存ではできないので、西日本高速道路株式会社やバス事業者等と今後協議を続け、何らかの形で必ず利用できるようにし、状況については報告してまいります。



産業・経済・労働

鉄の駅の設定構想について

北村 貴寿 議員

Q 第5次総合計画に「鉄の駅」の設定を明記すべきである。

新幹線車両基地や車両基地新駅、新幹線公園を一体的に整備し、フルーツの里福重や民泊との連携を視野に入れた施設は新たな観光資源となる。機運を盛り上げるために、すいーつ祭りやパティシエを目指す学生とのコラボ企画も有効と考えているが、スイーツトレインの定期運行を目指してはどうか。

A 「鉄の駅」の設定については、第5次総合計画に明記し取り

組む。また、スイーツトレインについては、平成27年度から大村線と久大本線を交互に運行することが決定したため、市としてもバックアップして成功させたいと考えている。



教育・文化・スポーツ

学校2学期制の評価はより具体的に

伊川 京子 議員

Q 2学期制が始まって9年目になり一定の結果を出す年度にならなかった。2学期制を進めるにせよ見直すにせよ、しっかりした検証とわかりやすい結果の公表が必要である。これまでの説明ではどのように良くなったのかわかりにくい。子どもたちの変化など、成果と課題について、より具体的な説明が求められると思うがどうか。

A 2学期制の保護者への内容の周知については、説明が行き届かなかったという課題がある。2学期制の検証については、外部検証委員会と内部検証委員会での検証が終わり、教育委員会内にプロジェクトチームを組織し、保護

者への知らせ方も含め、具体的な内容の検討を進めたい。

愛国心教育について

朝長 英美 議員

Q 小中学校において、日本の領土問題の経過など詳しく教育しているのか。教育するべきである。八紘一宇の精神から教育勅語の口語訳が良いところは教えるべきである。また、修学旅行を靖国神社や沖繩のひめゆりの塔、平和祈念公園にすることはできないのか。また、市内慰霊碑の清掃活動など市として協力できないか。

A 領土問題の経過については、小学校は今度採択される教科書に位置づけられるものと思われる。中学校は学習指導要領に明記される。また、教育勅語の指導については、日本の伝統的な良いところは残す必要があると思う。また、靖国神社等への修学旅行の実施については、旅費や行程の面から困難と考えている。また、市内慰霊碑の清掃活動への市の協力については、市職員有志が県と市の慰霊祭前に2回奉仕活動を行っている。



都市整備

港湾管理について

水上 享 議員

Q 波静かな大村湾はマリネリジャーが盛んであり、港への係船を待ち望む人も多い状況である。大村港内のプレジャーボートの船数と係船料の収納状況について尋ねる。また、港湾整備には県税、市税を投じているため、係船料が未納の船は撤去するなど厳しく対応すべきである。また、廃船や放置船なども併せて撤去すべきではないか。

A 係船料の未納については、大村港が357隻のうち85隻、漁港が56隻のうち7隻である。また、未納の船や放置船等の撤去については、放置船を発見した場合、所有者を調査し、口頭や文書で撤去の指導を行っているが、罰則の適用等は港湾管理者である県の権限であるため、今後、県と連携しながら、撤去に取り組みたい。